

【取組内容①】 学習支援ソフトによる協働的な学びとAIドリルによる個別最適な学びの実現



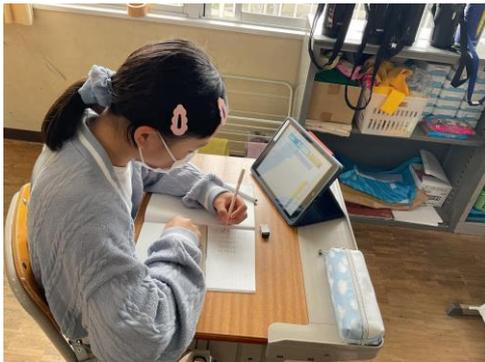
【学習支援ソフトを活用し、自力解決の結果を共有】

- ① 自力解決ができた順から提出箱に提出
- ② 自力解決ができた児童は、他の児童の自力解決の結果を見て、自分の考えと比較
- ③ 自力解決が難しい児童も、提出されたものを参考にし、自分の考えを提出



【比較・検討場面で、ペアやグループでの話し合い】

- ① 学習支援ソフトや教科書等を使ってペアやグループで話し合いを実施
- ② 互いの考えの根拠を示しながら協働学習を実施
- ③ その結果を学習支援ソフトで提出



【授業の終末でのAIドリルの活用】

- ① 特に算数科の習熟の時間にAIドリルを活用
- ② 一人一人の理解度に合った演習問題が出題される
- ③ 教師の管理画面で一人一人の進捗状況をチェック